

ステージイベント

1 カイリュウグリーティング

ふくい応援ポケモン「カイリュウ」と写真撮影ができるグリーティングイベントでは、子どもから大人まで、多くの来場者がカイリュウとの触れ合いを楽しみました。



©Pokémon. ©Nintendo / Creatures Inc. / GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémon は任天堂・クリエーション・ゲームフリークの登録商標です。

3 エコサイエンスマジックショー

キャラメルマシンの二人による「エコサイエンスマジックショー」では、地球や環境、エネルギーといった少し難しいテーマを、驚きのマジックと軽妙な掛け合いで楽しく学びました。会場は子どもたちの笑い声で溢れ、大変盛り上がりしました。



5 RICE MEDIA トム氏トークイベント



「プラなし生活」動画で大人気のYouTuber、RICE MEDIA トムさんによるトークイベントでは、「環境問題に関心を持ってもらうには？」という来場者の間に、トムさんは「まず楽しい・面白いから入ることが大切」と語りました。来場者はもちろん、環境保全に携わる人にとっても重要な視点を提供してくれました。

2 さくらいと学ぶデコ活～クイズ大会～

さくらいとの皆さんと一緒に、「デコ活って何?」「どんな行動が環境を守るにつながるのか?」など、クイズ大会で楽しく学びました。難問もありましたが、優勝者は全問正解し、賞品の「福井県恐竜博物館」のチケットを獲得しました。



4 坂井市まちづくりカレッジ高校生発表



「坂井市まちづくりカレッジ環境グループ」の高校生から、地域での環境活動の成果や活動を通して感じた課題や気づきを発表してもらいました。福井のこれからの担う高校生たちの取組みが来場者の心に響きました。

6 さくらいとと一緒にデコ活抽選会

最後のステージイベントとして、デコ活抽選会を開催しました。さくらいとの皆さんが番号を引き、当選者には電話がかかってくるという仕組みに、会場はドキドキとワクワクで盛り上がりしました。当選者には自分が取り組む「デコ活宣言」をしていただき、福井産のお米や県内民泊の宿泊券など豪華賞品が贈られました。



出展ブース・ワークショップ等の様子

「ふるさと環境フェア」の概要

当協議会では、県民が福井の豊かな自然環境を守り育てる大切さを考える機会を提供するため、企業・団体の皆様の協力を得て、「ふるさと環境フェア（以下、「環境フェア」といこ）」を平成21年度から開催しています。11回目となる今回は、令和7年9月27日（土）、初めて福井駅前「ハピテラス」と「AOSAアトリウム」で開催しました。テーマ「未来へつなげるふくいの環わ（く）デコ活ふくい」でカーボンニュートラルな未来へ〜」のもと、アクセスしやすい駅前立地で、より多くの県民が気軽に参加できるイベントとなり、当日は約4千人の方にご来場いただきました。



テーマに込めた思い

2050年のカーボンニュートラル実現には、一人ひとりの行動が欠かせません。しかし、「デコ活やカーボンニュートラル」という言葉は重要なキーワードであるにもかかわらず、認知度が低いことが課題となっています。そこで、今回の環境フェアでは、この2つの言葉を自然に理解できるように、テーマに掲げるとともに、体験型ブースやクイズ、ステージイベントを通じて、楽しみながら学べる仕掛けを多数用意しました。



田村副会長あいさつ

開催内容

■出展ブース
ハピテラスとAOSAアトリウムには、合計34の体験・展示ブースやキッチンカーが並び、会場は終日にぎわいました。
ペットボトルキャップアート作りでは、来場者が協力して「はびりゅう」を制作しました。また、坂井市の高校生グループ（サステナ美術館のブースでは、ピーチグラスを使ったワークショップが行われ、子どもたちが楽しみながら環境保全について学習できました。その他、ソーラートレインによる発電体験や自然素材を使った雑貨作りなど、各ブースで工夫を凝らした環境保全に関する取組みが紹介されました。



中村副知事あいさつ

環境フェアを通じて、多くの方に環境を守る大切さを伝えることができました！